

# 令和3年度 研修年間計画

R3.2

	テーマ	No.	研修タイトル	テスト
4月	教育(研修)の目的 接遇	15分-70	教育(研修)の目的 ↑ 多職種会議出席者、リーダー、サブリーダーのみ受講	
		15分-69	社会人としての接遇マナー	あり
		15分-28	チームで取り組むということの意味	あり
5月	介助の基本 腰痛予防	15分-54	介助の基本	あり
		15分-63	腰痛予防対策と腰を痛めない介助法	あり
		15分-49	立ち上がりを理解する	あり
6月	感染・食中毒①	15分-30	介護現場での衛生管理	あり
7月	事故・身体拘束・権利擁護・ハラスメント・虐待②	15分-16	ヒヤリハットの目的と意義	あり
		15分-04	高齢者の転倒予防	あり
		15分-57	ことばの影響	あり
8月	利用者への関わり①	15分-39	自立支援とは	あり
		15分-67	廃用症候群の知識と坐位の効果	あり
		15分-31	解剖学で座位を考える	あり
9月	拘縮・緊急時の対応	15分-13	拘縮のケア	あり
		15分-38	異常の早期発見のための観察の視点	あり
		15分-53	誤飲時の対応	あり
10月	往還祭りのためお休み			
11月	感染・食中毒②	15分-05	標準感染予防策	あり
		15分-36	感染対策において求められるもの	あり
12月	事故・身体拘束・権利擁護・ハラスメント・虐待②	15分-61	不適切ケアと虐待	あり
		15分-62	身体拘束を行ってはいけない理由	あり
		15分-55	身体拘束防止の具体策	あり
1月	自己スキルUP学習	自己スキルUPに向けて、「フォローアップ研修」または「介護技術動画マニュアル」のどちらかから自分で選択して視聴すること。3月末までに研修レポートを提出すること		
2月	利用者への関わり②	15分-33	食事介助時の姿勢	あり
		15分-46	正常な排泄とは	あり
		15分-47	入浴のアセスメント	あり
3月	春休み	1月の自己スキルUP学習レポート未提出の職員は3月末までに提出すること		

権利擁護・ハラスメント・虐待

年1回

褥瘡

継続的な教育

感染・食中毒

年2回

事故予防(・身体拘束)

年2回